

研究講習事業報告

学発番号: 学21-042
事業名: 情報システム研究班研修会
日時: 令和4年 2月 25日 (金) 18:00~19:30
場所: Web開催
主題1: 出現実績ゾーン法 ~その実力は・・・?~
講師1: 川崎 誠司 先生 (佐賀大学医学部附属病院 検査部)
参加数: 総数:15名(京臨技会員:14名)
報告者: 増田 健太(京都大学医学部附属病院)

以下、講演内容など

本研修会では、佐賀大学より川崎誠司先生をお招きして、実患者の個別試料に対するリアルタイムの精度保証について講演いただきました。

自動分析装置の高性能化や検体搬送システムの普及によって、リアルタイムに検査結果を報告することが当然のこととなっていますが、それを満たしながら「検査の品質」も求められており、精度管理の重要性がますます高まっています。個別の患者試料ごとの品質を保証する手法としてエイアンドティー社の開発した「出現実績ゾーン法」を2000年から導入されており、検査結果の誤報告を免れた例や酵素異常を発見し得た例を紹介いただきました。労働生産性を重視していた従来型の検査室から脱却し、知的情報生産性の向上を重視するという臨床検査室のあるべき将来像も示していただき、有意義な研修会となりました。